

# ヤマホール

株式会社 ヤマワ

泥濃式推進工法は、高濃度泥水を利用し、切羽の安定を図りながら推進し、排泥は真空吸引による方法が取られています。この方法で作業を進めるに当り、作泥材は重要な役割を占めています。この度開発されました「ヤマホール」は、従来の製品に比べて、誰にも簡単に作液出来、十分な性能を持った製品であります。その特長と使い勝手の良さをご理解いただき、ご利用いただきますよう切にお願い申し上げます。

## 1. ヤマホール の特長

- わずかな使用量により十分な性能が発揮されます。
- 従来の材料使用量に比べて使用量が低減します。
- 材料置場、使用量の低減により作業環境が改善されます。
- 低比重スラリーの為、送排泥能力が向上します。

## 2. ヤマホール の使用方法

- 1) 所定量の水をミキサーに投入して下さい。
- 2) 逸泥防止材（目詰材）を使用する場合は、先に投入して良く攪拌して下さい。
- 3) ミキサーを回しながら、ヤマホール の規定量を少しずつ添加して下さい。
- 4) 粘土使用の場合は、ヤマホール の添加前後に粘土を投入して下さい。
- 5) 10分程度攪拌した後に御使用下さい。

## 3. 製品の性状および包装形態

外 観	淡黄色・粉体
成 分	天然鉱物
嵩 比 重	1.0～1.05
安 全 性	毒物および劇物取締法：毒劇物 該当せず 労働安全衛生法：有機則、特化則、表示物質 該当せず
包装形態	18 kg/袋 カイコー1 25kg 缶入

## 4. 泥濃式推進工法配合例（1 M3 用配合）

	単 位	土質による区分									
		A		B	C-1	C-2	C-3	C-4~C-6	D		E-1~E-3
ヤマホール	Kg	0	18	36	36	36	36	36	0	10	10
目詰材	Kg	0	0	0	6	8	10	12	0	0	6
粉末粘土	Kg	0	0	0	60	120	180	210	0	0	0
離 間 剤	Kg	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0
水	Kg	999	993	986	956	930	904	890	999	996	991

離間剤＝粘土付着防止剤（カイコー1、等）

土質区分	区分内容	土質区分	区分内容
A	粘性土（N値5未満）、砂質土（N値25未満）	C-1	砂礫土 礫率30～40%
B	砂質土（N値25以上） 砂礫土（礫率30%未満、礫径20mm未満）	C-2	砂礫土 礫率40～60%
		C-3~C-6	砂礫土 礫率60～80%
D	粘性土（N値10以上50未満）	E-1~E-3	軟岩

## 5. 取り扱い上の注意

- ・防塵マスク・防塵めがねを着用状の上取り扱い下さい。
- ・目に入った場合、皮膚についた場合は15分間以上清水にて洗って下さい。
- ・吸い込んだり飲み込んだりしたら、吐き出させた後医者への診察を受けて下さい。
- ・製品そのものは無害ですが、お取り扱いには十分注意して下さい。